



hbc

human health care

hbc (human health care) のマークは、フローレンス・ナイチンゲールの直筆サインをもとにデザインされたものです。治療する側の発想だけでなく、ベッドの上にいらっしゃる人びとの視線で医療を見つめることの大切さ。みずから志し傷ついた人の看護に身を捧げた彼女の行動のあり方に、エーザイの思いが込められています。

株主通信

2011年3月期第2四半期報告



エーザイ株式会社

<http://www.eisai.co.jp>



目次

株主の皆様へ
業績のポイント
第2四半期決算の概況
株主還元について
開発品の状況
主な提携の状況
アリセプト・フランチャイズの進展
トピックス
株式の状況
株式に関するメモ
お知らせ

お問合せ先

株式に関するお問合せ先

エーザイ株式会社 総務部

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10

TEL: 0120-501-217(通話料無料)

平日9:00~17:00

商品に関するお問合せ先

エーザイ株式会社 お客様ホットライン

TEL: 0120-161-454(通話料無料)

平日9:00~18:00/土、日、祝日9:00~17:00

株主の皆様へ



株主の皆様には、日頃よりご指導、ご支援を賜り、誠に有難うございます。

2011年3月期第2四半期決算と経営の状況をご報告申し上げます。

取締役兼代表執行役社長
兼最高経営責任者(CEO)

内藤 晴夫

業績のポイント

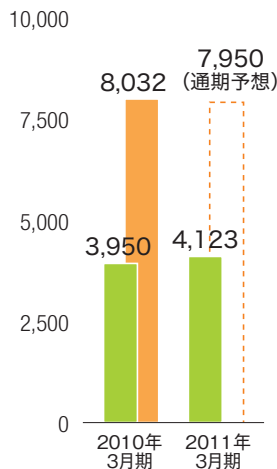
- 第2四半期(累計)の連結売上高は、4,122億83百万円(前年同期比4.4%増)となりました。
- 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が1,720億63百万円(前年同期比10.3%増)、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」(米国名「アシフェックス」)が703億40百万円(同4.1%減)となりました。また、がん関連領域製品の売上高は395億11百万円(同1.3%増)となりました。
- 売上増による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の効率化により、営業利益、経常利益および四半期純利益は増益となりました。

第2四半期決算の概況(1)

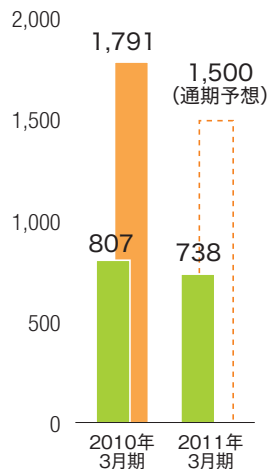
(数字は四捨五入表示)

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)

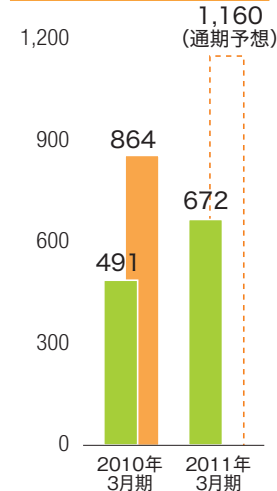
売上高 (単位:億円)



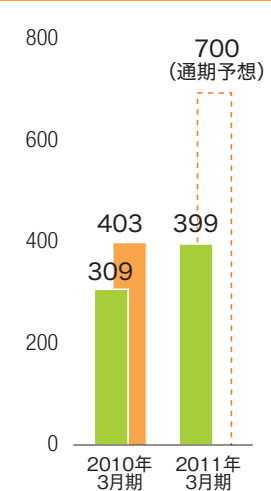
研究開発費 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



四半期(当期)純利益 (単位:億円)



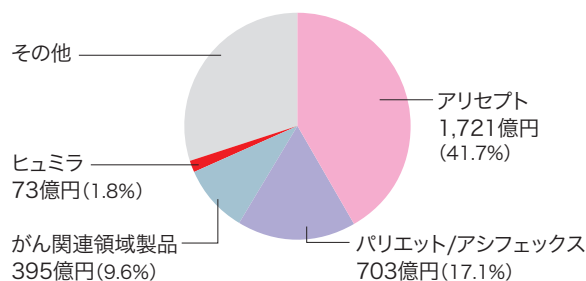
*本株主通信に記載されている予想および計画等は、さまざまな不確定要素(経済情勢、薬事制度、研究開発上のリスク、製造承認許可など)により変動するものであることをご了解願います。

第2四半期決算の概況(2)

(数字は四捨五入表示)

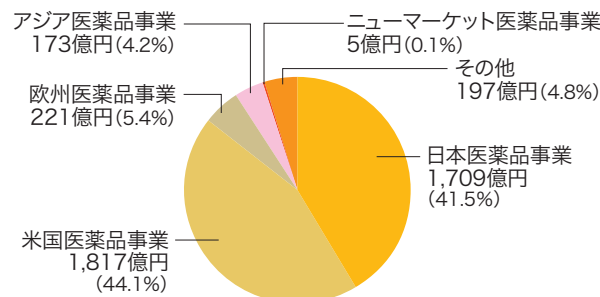
主力製品の売上高

()内は構成比

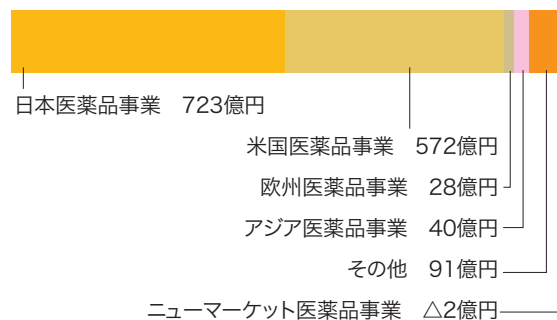


セグメント情報 売上高

()内は構成比



セグメント情報 セグメント利益(又は損失)



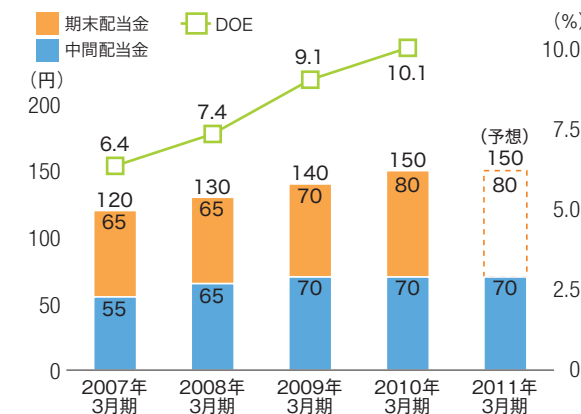
*研究開発費(738億円)および親会社の本社管理費等(43億円)は、セグメント利益(又は損失)に配分していません。

株主還元について

株主還元については、連結業績、連結純資産配当率*(DOE)およびキャッシュ・インカム*を総合的に勘案し、株主の皆様へ継続的・安定的な配当を実施しております。

2011年3月期の中間配当金は、株主の皆様への継続的・安定的な配当という基本方針に基づき、1株当たり70円とさせていただきます。なお、期末配当金は80円(年間配当金150円)を見込んでおります。

配当金およびDOEの推移



*純資産配当率(DOE) = 配当性向 × 自己資本当期純利益率
DOEには、株主の皆様への利益配分を示す配当性向と、株主の皆様が投資した資金を使いどれだけ効果的に利益を出せたかを示す自己資本当期純利益率の2つの要素が含まれております。

*キャッシュ・インカムは、成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。
算式: 当期純損益 + 有形・無形固定資産減価償却費 + インプロセス研究開発費 + のれん償却額 + 減損損失(投資有価証券評価損含む)

開発品の状況

7月以降、開発ステージに進捗があった開発品は以下のとおりです。

領域	製品名、 開発品コード	概要	地域	開発品の状況				剤形
				フェーズII	フェーズIII	申請	承認	
神経	アリセプト (E2020)	高用量製剤「アリセプト錠23mg」の承認を取得いたしました。	米国			7月		経口
	ゾネグラン (E2090)	口腔内崩壊錠の剤形追加の承認を取得いたしました。	欧州			7月		経口
	BANZEL (E2080)	経口懸濁液 (40mg/mL) の承認申請が受理されました。	米国					経口
血管・免疫反応	ヒュミラ (D2E7)	若年性特発性関節炎に関する効能・効果追加の申請をいたしました。	日本					注射
	ワーファリン	小児における用法・用量追加の申請をいたしました。	日本					経口
消化器	パリエット/ アシフェックス (E3810)	「パリエット エクステンドリリース50mg製剤」の承認申請が受理されました。	欧州					経口

*肥満症治療剤「KES524」は、日本における製造販売承認申請を取り下げるとともに開発を中止いたしました。

主な提携の状況

●ビフィズス菌を用いた新規抗がん製剤「APS001」およびデリバリー技術に係る契約を締結

2010年9月に信州大学発ベンチャー企業である株式会社アネロファーマ・サイエンスとビフィズス菌の特性を活かした新規抗がん製剤「APS001」に関するオプション契約およびビフィズス菌を用いたデリバリー技術を活用した新規抗がん製剤候補の探索に係る契約を締結いたしました。

●ラブコナゾール・プロドラッグに関するライセンス契約を締結

2010年9月に株式会社ブレインファクトリーと「ラブコナゾール・ジヒドロジェンホスホノキシメトキシ誘導体」(ラブコナゾール・プロドラッグ)について、日本を対象としたライセンス契約を締結いたしました。

2010年11月に米国ではアリセプトの特許が満了いたしますが、引き続き「アリセプト錠5mg、10mg」、「アリセプト口腔内崩壊錠5mg、10mg」、「アリセプト錠23mg」、「1週間持続型経皮吸収パッチ製剤(申請中)」など複数の規格・剤形をもって、アルツハイマー型認知症患者様に貢献してまいります。

●高用量製剤「アリセプト錠23mg」

2010年8月に米国で高用量製剤「アリセプト錠23mg」を新発売いたしました。本剤は、従来のアリセプト同様1日1回投与の中等度・高度アルツハイマー型認知症治療剤です。認知機能の評価において、「アリセプト錠10mg」に優る有効性を示しました。本剤により新たな治療の選択肢を提供してまいります。



●1週間持続型経皮吸収パッチ製剤「アリセプト」

2010年9月に米国でTeikoku Pharma USA, Inc. より提出された1週間持続型経皮吸収パッチ製剤「アリセプト」に関して承認申請が受理されました。本剤は、軽度・中等度・高度アルツハイマー型認知症を適応症とする世界初の1週間持続型経皮吸収パッチ製剤(週1回投与製剤)です。本剤により、毎日の服薬を介助する介護者やご家族の皆様のご負担を軽減することをめざしております。

●抗がん剤「トリアキシン」

シンバイオ製薬株式会社と日本におけるライセンス契約を締結している抗がん剤「トリアキシン」について、2010年10月に日本でシンバイオ製薬株式会社が再発・難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫およびマントル細胞リンパ腫を効能・効果として承認を取得いたしました。

●速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト」

2010年9月に中国で速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト」(中国での製品名「快如妥」)を新発売いたしました。本剤は、2型糖尿病における食後血糖推移の改善を適応症とする薬剤であり、スルフォニルウレア系インスリン分泌促進薬に比べ服用後速やかに効果を発現することから、インスリン分泌を自然なパターンに近づけて食後高血糖を改善いたします。



株式の状況

(2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	296,566,949株
うち自己株式数	11,629,885株
株主数	99,986名

大株主の状況

(2010年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	16,398	5.53
日本生命保険相互会社	15,344	5.17
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	14,652	4.94
株式会社埼玉りそな銀行	12,398	4.18
ジーピー モルガン チェース バンク 385147	7,993	2.70
イーザイ従業員持株会	6,816	2.30
住友生命保険相互会社	5,015	1.69
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	4,982	1.68
株式会社みずほ コーポレート銀行	4,680	1.58
全国共済農業 協同組合連合会	4,521	1.52

*持株数は切捨表示しております。

*持株比率は自己株式を含む発行済株式数に対する割合として算出しております。

*自己株式11,629千株(3.92%)は、議決権がないため除いております。

*株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループから、同グループ4社の共同保有として2009年7月6日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)により2009年6月29日現在で17,857,949株(6.02%、自己株式を含んだ発行済株式数に対する割合)を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期末における株主名簿で確認することができないため除いております。

*株式会社みずほコーポレート銀行から、同グループ6社の共同保有として2010年9月24日付で提出された大量保有報告書により、2010年9月15日現在で15,281,207株(5.15%、自己株式を含んだ発行済株式数に対する割合)を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期末における株主名簿で確認することができません。

株式に関するメモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料) (平日 9:00～17:00 オペレーター対応)
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.eisai.co.jp/fr/index.html ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、上記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店へご照会ください。

株式に関するお問い合わせ先

イーザイ株式会社 総務部
TEL:0120-501-217
(平日 9:00～17:00 通話料無料)

お知らせ

所在不明の株主様をさがしています

現在当社では、郵便物等が届かず、そのために配当金が受け取れていらっしゃらない「所在不明株主」様をさがしております。当社の知りうる連絡先では連絡のとれない方々の名簿を当社ホームページ上で公告しております。お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。公告期間は2011年2月7日までです。

<http://www.eisai.co.jp/fr/index.html>

お問い合わせ先

イーザイ株式会社 総務部

TEL:0120-501-217

(平日9:00～17:00 通話料無料)

「所在不明株主」とは

株主名簿の住所に継続して5年以上通知・催告が届かない場合等で、かつ、継続して5年間剰余金の配当を受領されていない株主様を言います。原因としては、名義書換や住所変更の失念などが考えられます。